

行政の窓

林野庁平成24年度補正予算・平成25年度予算概算決定について

平成24年度林野庁補正予算について、平成25年1月15日付けで閣議決定され、森林整備加速化・林業再生基金事業の拡充、木材利用ポイント利用事業等が実施される見込となっています。また、平成25年度林野庁予算について、平成25年1月29日付けで概算決定が発表されました。概算決定額は、289,940百万円（対前年度比111.2%）となり、前年度より増額となりました。

木材利用の関係については、我が国の森林・林業を早急に再生していくための指針として平成21年12月25日に公表された「森林・林業再生プラン」において、目指す姿として掲げられた「平成32年の木材自給率50%以上」を実現するために、「国産材の利用拡大」を主要な課題として、「公共建築物等木材利用促進法」の着実な推進による地域材の一層の利用拡大や木質バイオマス等地域材の新たな用途への利用拡大の推進に取り組むこととされています。

《平成24年度補正予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
強い林業・木材産業構築緊急対策 （「森林整備加速化・林業再生基金」の拡充等） （92,442百万円） ※国全体の概算決定額	輸入木材に対抗し得る強い林業・木材産業を構築するため、木造公共施設やバイオマス利活用施設の整備等の需要拡大と、原木の需給情報システムの整備や金融対策等の経営基盤強化対策を活用して需要に応じた機動的な生産体制を構築する総合的な取組を支援します。	国産材の供給・利用料の増加 <2,005万m ³ （H23）→2,800万m ³ （H27）>	(1) 需給情報対策 ①原木需給情報システム開発と地域協議会の開催等 ②木材流通施設整備 (2) 需要拡大対策 ③木造公共施設等整備 ④木材加工施設等整備 ⑤木質バイオマス利用施設等整備 ⑥地域材利用開発 ⑦地域材新規用途導入促進支援 (3) 経営基盤強化対策
木材利用ポイント （41,000百万円） ※国全体の概算決定額	地域材の需要喚起のため、地域材を活用した木造住宅、木製品等について、ポイントを付与し、地域の農林水産物との交換等を行う取組を支援します。	○国産材の供給・利用料の増加 <2,005万m ³ （H23）→2,800万m ³ （H27）> ○地域材の需要喚起による木材関連産業の活性化と木材価格の安定	地域材を活用して木造住宅の建築、内装木質化、木製品等の購入の際に、木材利用ポイントを付与し、地域の農林水産物との交換等を行う。

《平成25年度予算 主要事項の概要》【川下関連を主とするもの】

事業等名	対策のポイント	政策目標	主な内容
森林・林業再生基盤づくり交付金 （1,612百万円） ※国全体の概算決定額	地域の自主性・裁量を尊重しつつ、森林の整備・保全の推進、林業・木材産業の健全な発展と木材利用の推進を図るため、高性能林業機械や木造公共建築物の整備等に必要な経費について支援を行います。	○高性能林業機械を使用した素材生産量の割合の向上 <4割（H21）→6割（H27）> ○公共建築物の木造率（床面積）の向上 <8.3%（H22）→24%（H27）>	・高性能林業機械等の整備 ・特用林産振興施設等の整備 ・木材加工流通施設等の整備 ・木造公共建築物等の整備 ・木質バイオマス利用促進施設の整備 ・林業担い手等の育成確保
林業金融対策 （1,289百万円） ※国全体の概算決定額	林業者・木材産業者等の森林整備や設備投資等に対する金融支援を行い、森林施業の集約化・路網の整備や木材の加工・流通体制の改革を促進します。	林業者・木材産業者等の地域材利用、森林整備、経営改善等に必要な資金調達の円滑化	1. 利子助成による地域材利用の促進 2. 無利子資金による森林整備の推進 3. 無利子資金による林業・木材産業者の経営の改善 4. 木材加工設備導入利子助成支援事業 5. 信用保証の基盤強化と林業・木材産業者の合理化の推進

※詳細については、次の林野庁HPをご参照ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/24hosei.html> （平成24年度補正）

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/25gaisank.html> （平成25年度当初）

（水産林務部林業木材課林務局林業木材グループ）